

1-Ⅱ 退院患者

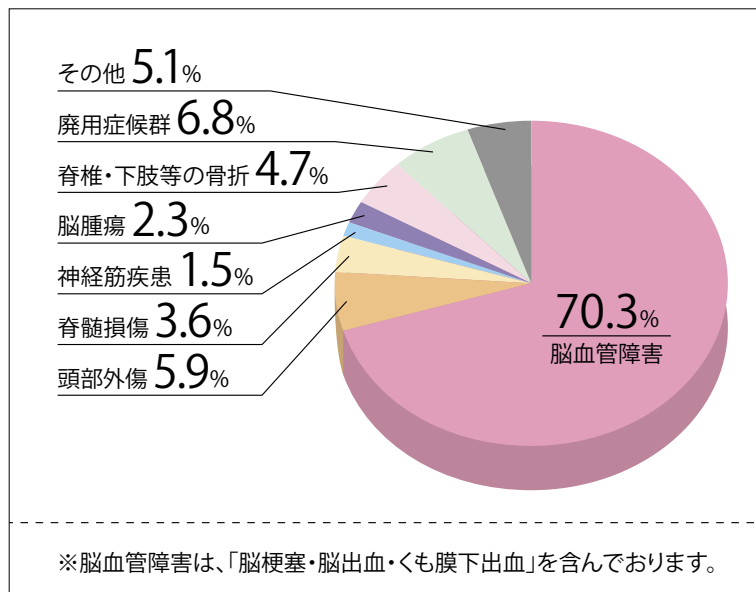
初台リハビリテーション病院
クリニカルインディケーター 2025

退院患者（n=752）

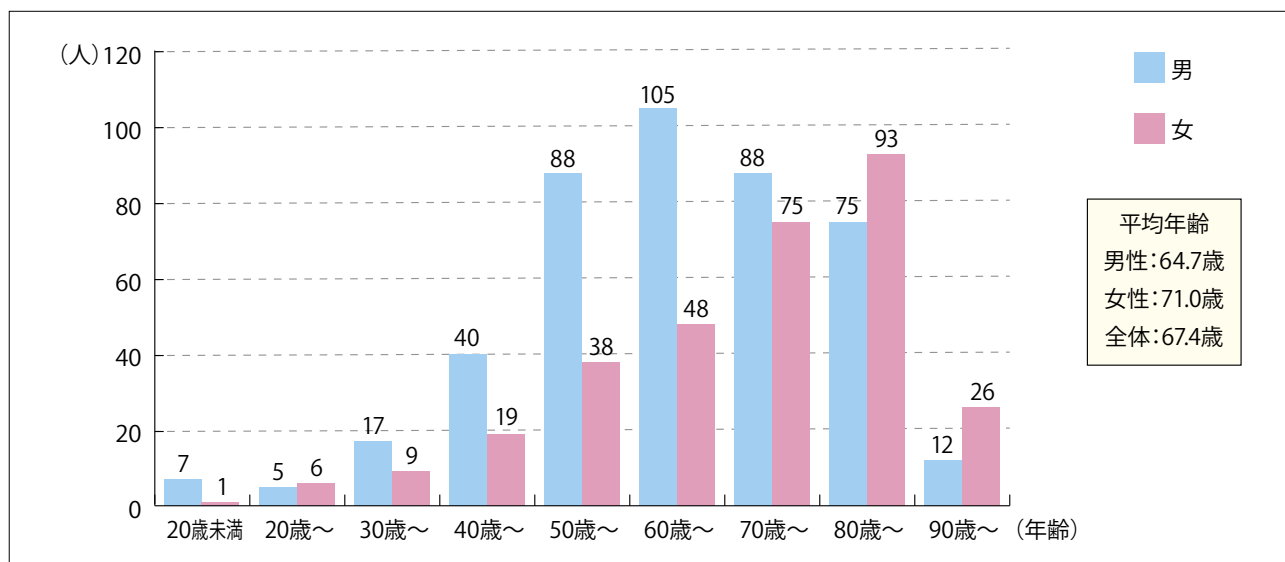
※同一者の同一疾患での再入院は1入院として扱っております。

※回復期リハビリテーション病棟協会が2026年2月に発表した「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」内の全国平均値を、一部、当院の実績と比較しています。

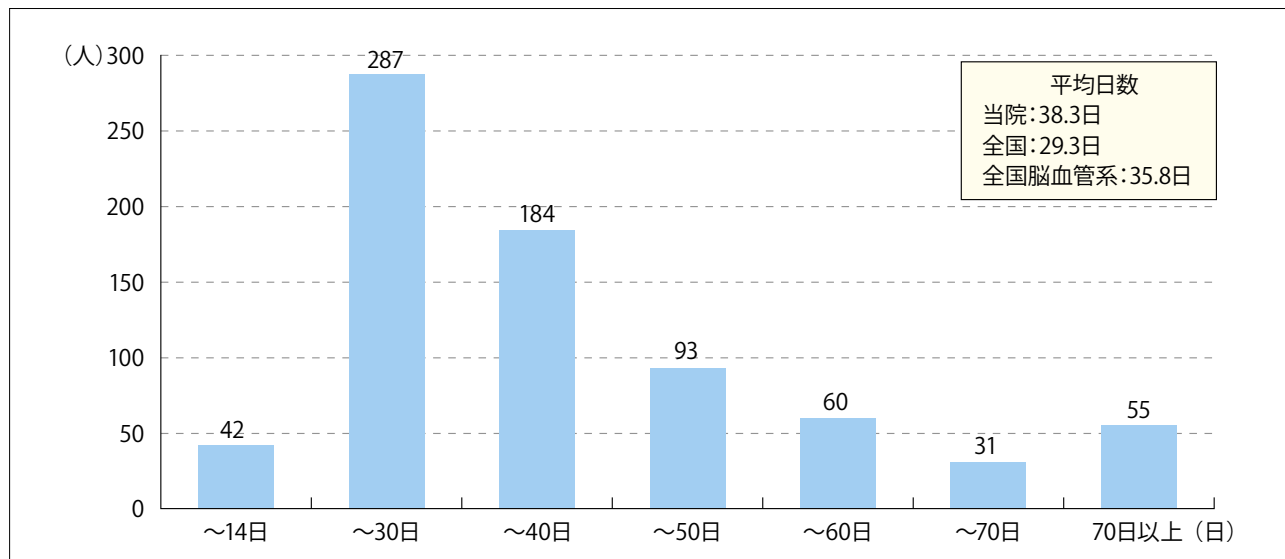
①疾患別患者割合（n=752）



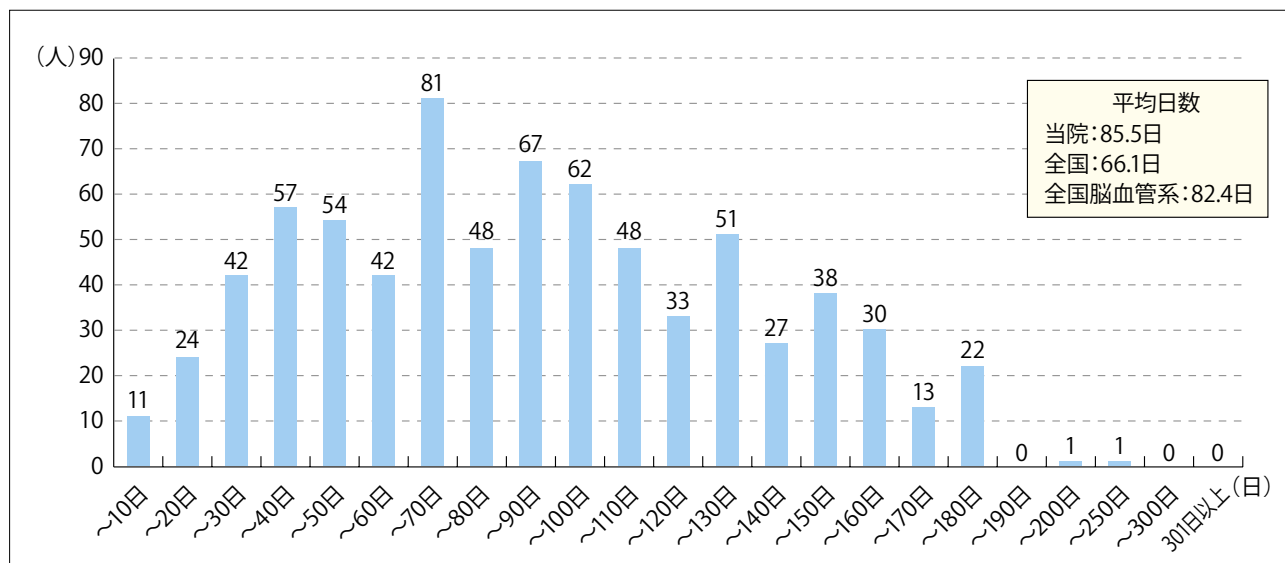
②年齢・性別構成（n=752）



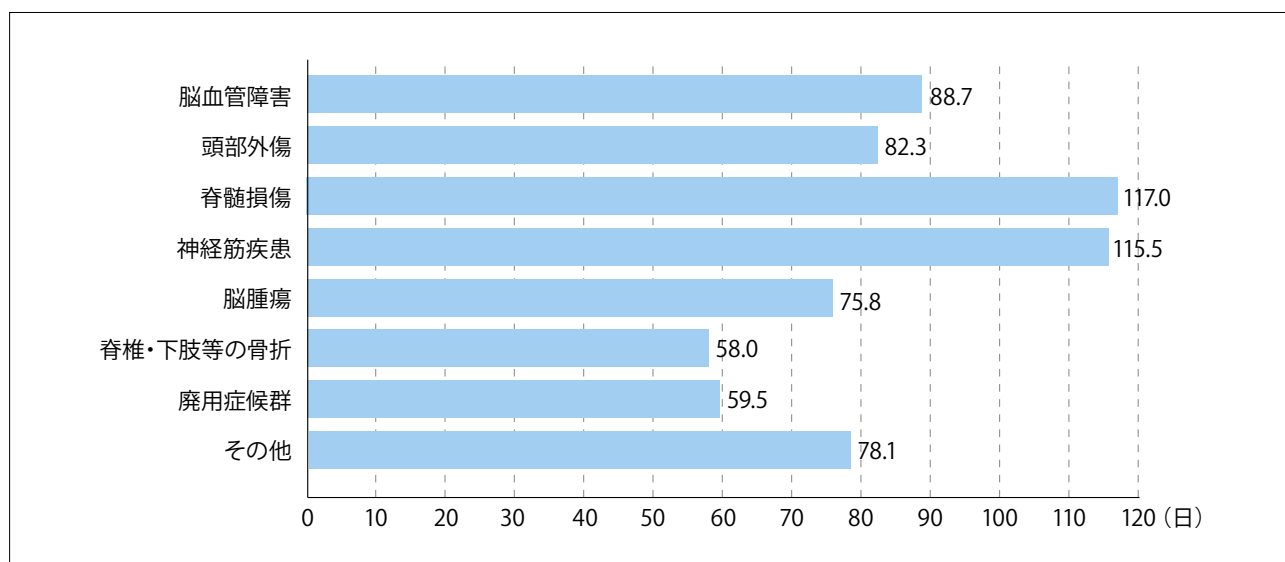
③発症～初回入院までの期間（n=752）



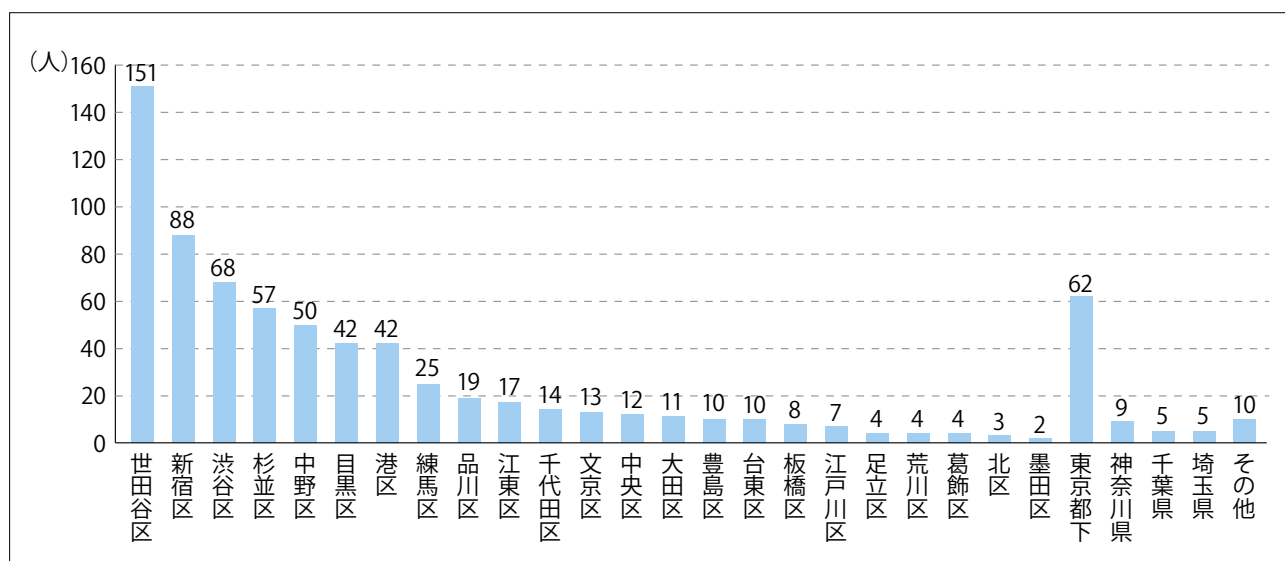
④在院日数 (n=752)



⑤疾患別平均在院日数 (n=752)

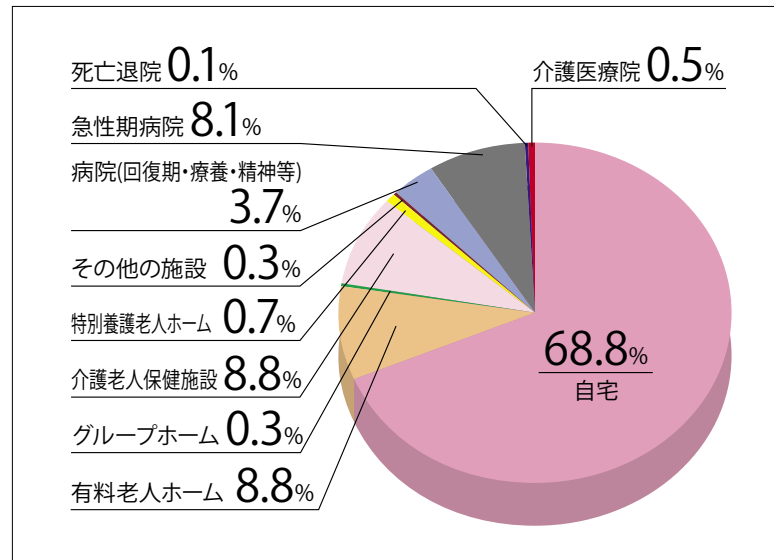


⑥患者住所 (n=752)

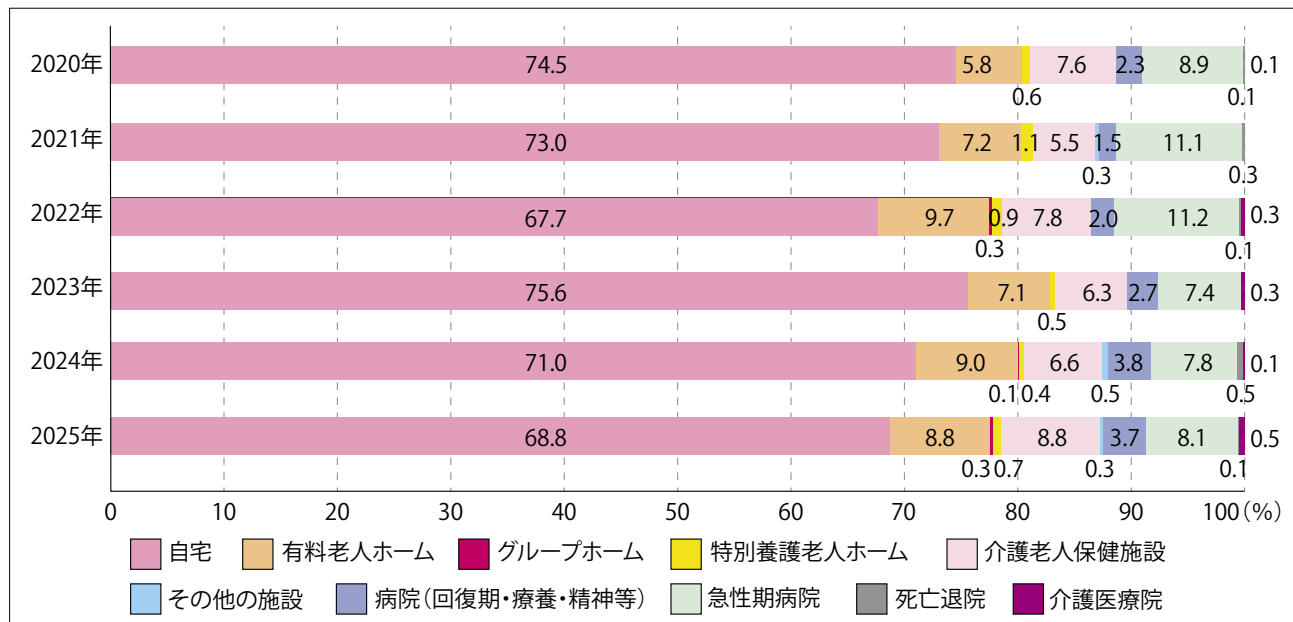


⑦最終退院先 (n=752)

自宅と居宅系施設を併せた在宅復帰率は79.4%でした。



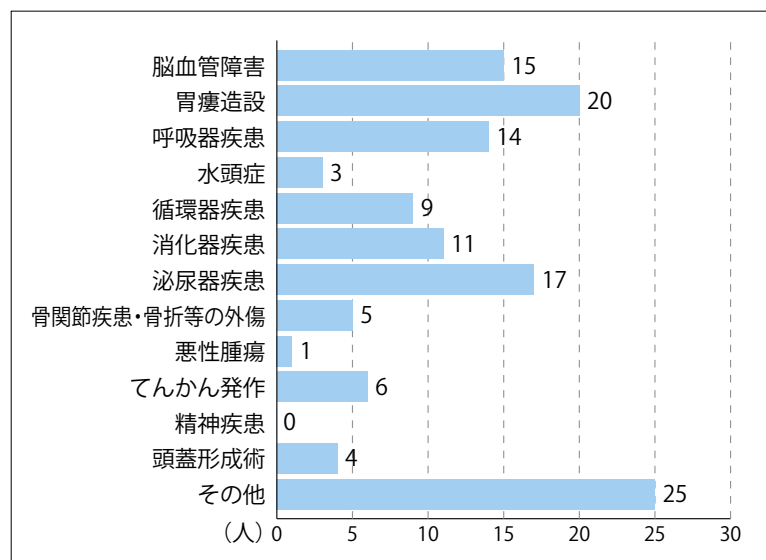
⑧最終退院先・年別 (2020年～2025年)



⑨他医療機関への治療目的での転院理由 (n=130)

重篤な合併症の発症等によりリハビリテーションの継続が困難、あるいは専門的な精査・治療が望まれる場合には、必要に応じて急性期病院(原則として紹介元病院)に転院し専門的な治療を受けていただいています。

2025年度は130件の方が急性期病院に転院されました。内訳は右記グラフとなります。治療が終了し、リハビリ再開が可能となりましたら当院に再入院いただけます。



⑩ リハビリテーション実績指数

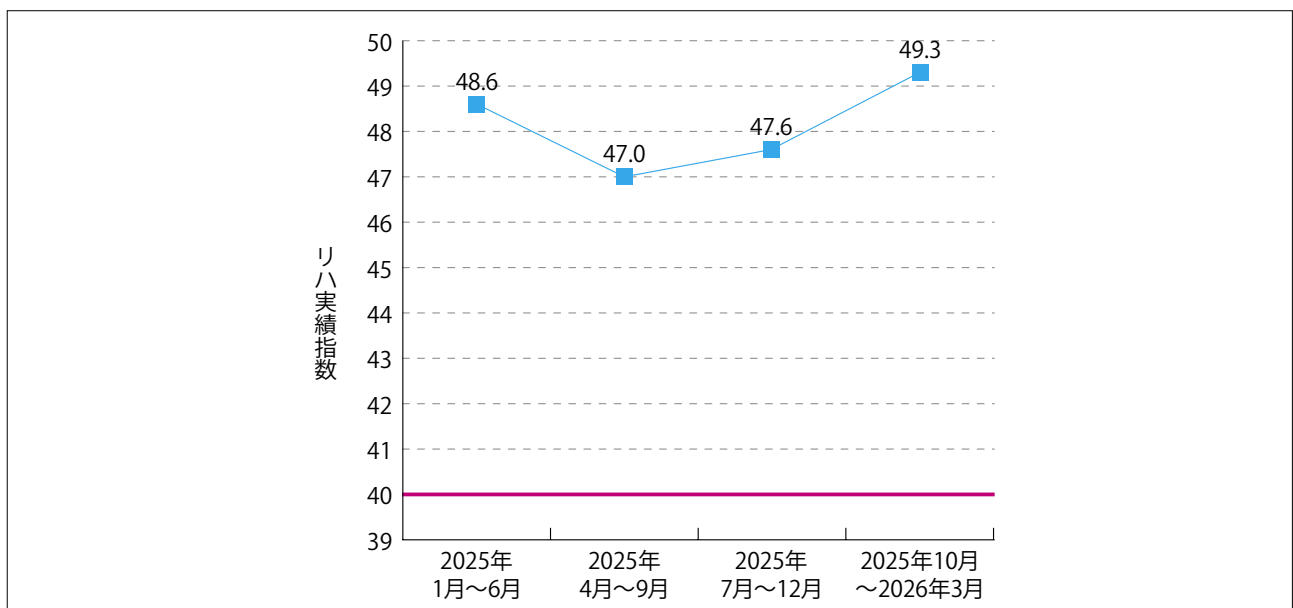
リハビリテーション実績指数とは、FIM 得点の改善度を、患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。

以下の式により算出します。

$$\text{実績指数} = \frac{\Sigma (\text{退棟時の FIM 運動項目の得点} - \text{入棟時の FIM 運動項目の得点})}{\Sigma (\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$$

厚労省の定めた基準では、この実績指数が「27以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションを提供していると判断されます。当院が取得している「回復期リハビリテーション病棟入院料1」では、実績指数が「40以上」であることが要件となります。

リハビリテーション実績指数の高さは、限られた入院期間の中で高い FIM 利得（日常生活の改善度）を達成できている成果の表れであり、診療報酬上の基準を満たすだけでなく、患者様の早期在宅復帰と QOL（生活の質）向上へ大きく貢献している医療の質を客観的に裏付けるものとして非常に重要視されています。



⑪ FIM改善度

（入院時FIM55点以下対象のうち16点以上改善した患者の割合）

2023年度から、急性期退院・死亡退院を除外して作成しています。

回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準として、入院時 FIM 評価が55点以下であった患者さまのうち3割以上の患者さまが退院時に16点以上改善していることが要件となっています。

